

6-4 4/5時の指導計画

(1) 目標

下書きを読み合い、文章と図表とが対応しているか、図表が文書の助けとなっているかなどを確かめ、読みやすくて印象的な文章にすることができる。

(2) 展開

* 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ I C T 活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 ICの状況の生徒への手立て
導入	1 前時の学習を振り返り、本時の目標を確かめる。 〔手順〕 1) 作品例 1 を読んで、推敲をする。 ・学年ごとの読書量の変化を示すなら表よりも、折れ線グラフの方がよい。 2) 作品例 2 を読んで、推敲をする。 ・説明は、グラフの要素の順に、段落を分けた方がよい。 3) 作品例 3 を読んで、推敲をする。 ・全体的なことを述べる段落があった方がよい。 ・順序を表す言葉や、指示示す言葉をつかった方がよい。	学習計画表	○前時に学んだことを 2 ~ 3 名に発表させる。 ○本時の目標を齊読によつて確認させる。	
展開	2 「『私』の説明文」作品例を読み、読み合うとき(本時は推敲)の観点を確かめる。 〔手順〕 1) 作品例 1 を読んで、推敲をする。 ・学年ごとの読書量の変化を示すなら表よりも、折れ線グラフの方がよい。 2) 作品例 2 を読んで、推敲をする。 ・説明は、グラフの要素の順に、段落を分けた方がよい。 3) 作品例 3 を読んで、推敲をする。 ・全体的なことを述べる段落があった方がよい。 ・順序を表す言葉や、指示示す言葉をつかった方がよい。	作品例 1 作品例 2 作品例 3 学習プリント「読むこと」① 「指示語」 ②「接続語」	◆作品例 1 ~ 4 を電子黒板に映し出し、全体で推敲をしながら読み合うときの観点を確かめさせる。 ○作品例ごとに改善点を 2 ~ 3 名に発表させて推敲の観点を確かめさる。 ○特徴的な改善点を確認したら、次の作品例に進む。 ○誤字・脱字については、作品例ごとに 1 ~ 2 例ずつ挙げておき、気付いた生徒を評価して適切な表記を指摘することについて意欲・関心を高める。	◇発言をしていない生徒には、ワークシート②(作品例 1 の場合)や、学習の手引き「読むこと」⑤(作品例 2 の場合), 学習プリント「読むこと」①・②(作品例 3 の場合), 教科書の「完成作品例」(作品例 4 の場合)などの参考資料を参照するように指示し、推敲の助けとさせる。 《板書例》推敲の観点 = 読み合うときの観点 ① 適切な形式の図表で表現している。 ② 分かりやすい構成で書いている。 ③ 順序を表す言葉や指示示す言葉を使って書いている。 ④ 図表と文章を関連させて書いている。 ⑤ 適切な表記で書いている。

	<p>4) 作品例4を読んで、推敲をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図表との関連のある内容を説明した方がよい。 <p>3 グループで作品を回し読みながら、推敲をする。 [手順]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 友達の作品を読んで、付箋に自分の名前と①から⑤までのどの観点の推敲であるか明記した上で、よい点は青の付箋に、改善点はピンクの付箋に書いて作品に貼り付ける。 2) グループの作品をそれぞれ推敲する。 <p>4 友達から貼ってもらつた付箋を振り返りシートに整理して、自分の作品について読みやすくて印象的な説明文になるように、推敲する。</p>	<p>作品例4</p> <p>振り返りシート ワークシート④</p>	<p>○司会者、記録者、報告者、タイムキーパーを決めさせる。</p> <p>○よい点と改善点は、1作品にそれぞれ1つ以上書くことを決まりとする。</p> <p>《付箋の記述例》</p> <p>①・レーダーチャートで複数の観点から分析しているのが一目で分かってよかった。</p> <p>・小学校のときと中学校のときの時間の使い方を比較るのは、帯グラフの方が分かりやすい。</p> <p>②・全体的なことを述べる段落や1つ1つ段落の材料について詳しく述べる段落など、段落の役割を明らかにして書いている。</p> <p>・グラフの要素の順番で書いているので分かりやすい。</p> <p>③・まず、次に、最後に、第一に、第二に、など順序を表す言葉を使っている。</p> <p>・上の図のように、～を見ると、などと図を指し示す言葉を使っている。</p> <p>・だから、したがって、しかし、だが、そして、つまり、などの接続詞を適切に使っている。</p> <p>④・グラフから分かることのうち、中心的に言いたいことを詳しく書いている。</p> <p>⑤・絶対絶命→絶体絶命</p>	<p>[書②] 書いた文章を読み返し、文章と図表とが対応しているか、図表が文書の助けとなっているかなどを確かめ、読みやすくて印象的な文章にしている。【ワークシート④】【振り返りシート】</p> <p>自分の作品に貼られた付箋を観点ごとにまとめて自分の作品の改善点を明らかにして書いている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断する。</p> <p>読んでいる作品に応じてよい点や改善点が明らかな観点を提示して、推敲させ、付箋に書かせる。集まつた付箋については同じことが書かれているものについて自分の作品と対照させ、「改善するところ」に書かせる。</p>
--	---	--	--	--

まとめ	<p>5 学習計画表の「振り返り」の欄に色を塗り、「学んだこと・感想」を書く。また、次時の「目標」を確かめ、見通しをもつ。</p>	学習計画表	<ul style="list-style-type: none"> ○目標に応じて学習内容がどうであったかを考えて振り返るよう促す。 ○板書を参考にして学んだことを書かせる。 ○次時は、学級で発表し、感想を交流することを確かめる。 	
-----	---	-------	---	--